

令和7年度 専門職大学院法務研究科（法科大学院）（D 日程）

小論文（未修者）

注 意 事 項

以下をよく読んで、間違いのないように受験してください。

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開かないでください。
2. この問題冊子の3～5ページに問題が掲載されています。落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合には申し出てください。
3. 解答用紙は（そのⅠ）・（そのⅡ）・（そのⅢ）の合計3枚です。解答用紙の追加は認めません。
4. 試験開始の合図があったら、すべての解答用紙に受験番号を記入してください。
5. 解答は必ず解答用紙の所定の場所に記入してください。
6. 解答用紙には、黒鉛筆（シャープペンシル可）の他、黒または青の万年筆・ボールペンを使用してもかまいません。
7. 文字ははっきり、ていねいに書いてください。解答の文字が読みにくい場合、点を与えないことがあります。
8. 試験中、使用していない解答用紙は机の上に裏返しにしてください。

[このページは空白です。]

I 小論文（配点 100 点）

I.（長文読解）

次の文章は、西村カリン『フランス人記者、日本の学校に驚く』（大和書房・2024 年）から抜粋したものである。これを読んで、以下の設問 1 及び設問 2 に答えなさい。

（配点：70 点）

…フランスの道德教育を見ていこう。

道德科はないけれど、「公民道德教育」という教科がある。…

学習指導要領によると、「公民道德教育」は 4 つの分野に分かれている。

1 つめは、「感性を養う。」これは自分が感じていることを表現することを学ぶ。相手の話をよく聞き、共感する。他者との差を受け入れる。コミュニティの一員として協力し、行動することも含まれる。

2 つめは、「ルールを学ぶ」。これは日本の道德教育と重なる分野だ。ただし「決められたルールを守りましょう」ではなく、民主主義国家においてなぜルールが必要かを学んだうえで、ルールについて考察していく。またルールと個人の価値観の関係を理解することも学ぶ。

3 つめは「判断能力を養う」。ここでは自分で考える力を育てる。他人と議論しながら、自分の判断能力を高めていく。議論をするには知識が必要だと理解し、どのように情報収集をするか、その情報をどうファクトチェックするかを学ぶ。自分の利益と社会全体の利益がどう違い、どの状況でどちらの利益を優先すべきかを考える。

4 つめは「社会に参加することを学ぶ」。責任をもって、社会の中でどう役割を果たしていくか新しいことを提案し、学んだことをどう実践していくか。まず学校で、そして学校以外でも役割を果たすことを学ぶ。差別についても考える。この 4 つめは、長男の小学校で 1～2 年生で学んだ「市民科」の授業とより近そうだ。

日本の「道德」はどうか。学習指導要領によると、やはり 4 つの分野に分かれている。

1 つめは、自分自身に関すること。善悪の判断、自律、自由と責任、正直、誠実、節度、個性の伸長、希望と勇気などを学ぶ。

2 つめは、人とのかかわりに関すること。親切、思いやり、感謝、礼儀、友情、

信頼、相互理解、寛容などを学ぶ。

3 つめは、集団や社会とのかかわりに関すること。規則の尊重、校正、公平、社会正義、勤労、公共の精神、家族愛、伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度などを学ぶ。

4 つめは、生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること。生命の尊さ、感動、畏敬の念、よりよく生きる喜びなどを学ぶ。

設問 1 この文章では、フランスにおける「公民道徳教育」も、日本における「道徳」も、どちらも 4 つの分野に分かれるとされている。それぞれにおける 4 つの分野の分け方・分類の基準がどのように異なるか、具体的に説明しなさい。なお、解答は解答用紙（そのⅠ）に行うこと。

設問 2 この文章から読み取れる範囲において、フランスにおける「公民道徳教育」と、日本における「道徳」とでは、その趣旨・目的にどのような相違があると考えられるか。根拠を挙げつつ、具体的に説明しなさい。なお、解答は解答用紙（そのⅡ）に行うこと。

Ⅱ. 論理力を試す問題

以下の文章を読んで、下記の設問に答えよ。

(配点: 30 点)

ある会社では会社の建物への入場につきのような規則を定めている。なお、当該会社の常勤職員は全員電子 ID 付き職員証を、非常勤職員は原則電子 ID なし職員証であるが、職務によっては電子 ID 付き職員証を貸与されている。

- 1 正面玄関は営業時間（平日 8 時～20 時）のみ開いており、警備員によるチェックを受ける。その際、警備員は必ずなんからの身分を証明するもの（職員証など）の提示を求めるものとし、以下のア～オの条件に一つでも該当する者は入場できないとする。

- ア 身分を証明するものを提示できない者
- イ カメラ付き携帯電話を所持している者
- ウ 20 歳未満の者

エ 酒気帯びの者

オ 服装が華美であると警備員が判断する者。ただし催し物の参加者など特別なケースを除く。

2 職員入口は電子 ID 付き職員証を機械で読み取らせることで、営業時間外のみ入場できる。

設問 1 「営業時間内の 18 歳の常勤職員は入場できないと断言できる」という主張は真か、それとも偽か。また、その理由を説明しなさい。

なお、解答は解答用紙（そのⅢ）に行うこと。

（配点：15 点）

設問 2 「営業時間外で酒気帯びの非常勤職員は入場できないと断言できる」という主張は真か、それとも偽か。また、その理由を説明しなさい。

なお、解答は解答用紙（そのⅢ）に行うこと。

（配点：15 点）

[このページは空白です。]